

求人のための 福島大学案内

FUKUSHIMA UNIVERSITY INFORMATION

福島大学は、2019年4月に農学群食農学類を開設しました。

これまでの人文社会学群(人間発達文化学類、行政政策学類、経済経営学類)、理工学群(共生システム理工学類)に加え、3つ目の学群ができたことにより、益々、総合大学として発展を目指していきます。

「解のない問い」にチャレンジする学生を育てる!

- 福島県は2011年3月東日本大震災とそれに伴う東京電力福島第一原子力発電所事故に見舞われ、甚大な被害を被り、「Fukushima」は世界に知れ渡ることとなりました。
- 震災以降、福島大学は被災地のフィールドワークや地域おこし、自然再生エネルギー人材育成などに取り組んで参りました。
- 日本だけでなく世界的にも容易に「答え」を導き出せない問題があふれています。福島大学は「解のない問い」にチャレンジする学生を育てる教育を創造します!

※本学では、障がいを持つ学生や性的マイノリティ等の様々なサポートを必要とする学生に対し、個別に支援しております。



人文社会学群 人間発達文化学類

伝統と実績のある<教育学部>からさらに**人材育成力**がパワーアップ!

学類概要

2005年、これまでの教育学部は新しく<人間発達文化学類>としてスタートしました。本学類は、前身の教育学部の時代から培ってきた教員養成力をベースに、人間発達という視点から教育や文化、スポーツ・芸術などを複合的に追究する新しい学問領域です。教育の現場が直面している課題に積極的に取り組む創造的な学校教員を育成するとともに、地域社会で求められている人間発達分野の専門家を幅広く育成したいと考えています。



人間発達専攻

教育者にもっとも大切な資質は、人間に対する深い理解と信頼です。人間発達専攻では、発達の筋道や多様性を学びながら、教育者として必要な知識や技能、人間の心理に対する多面的なアプローチ、子育てや特別ニーズ教育の専門的な技量を身につけ、教育者としての価値観や態度を育てています。本専攻では、幼稚園・学校・児童福祉領域などで活躍できる教育者を育成しています。



文化探究専攻

人間は誰もが社会の中で育ちます。人間の発達を社会・文化の側から追究するのが文化探究専攻です。本専攻では、言語文化、地域文化、生活文化、数理科学のそれぞれの学問内容を深めるとともに、領域相互の関連性や応用力を追求し、社会の中で生きて働く「知」のあり方をめざします。こうした技量を身につけて、主として学校や地域で貢献できる教育者、サービス諸分野で活躍できる人材を育成しています。



スポーツ・芸術創造専攻

スポーツや芸術は人々に感動を与えるだけでなく、個人を確立させる上できわめて重要な役割を果たします。スポーツ・芸術創造専攻では、競技力の向上や生涯にわたる運動との関わり方、また、美術・音楽の諸思想や表現技術を専門的に学び、優れた競技者・表現者を育成しています。さらに、こうした諸技術を通して、スポーツや芸術の指導者、地域イベントを企画できる人材も育成しています。



自然体験学習にて



人文社会学群 行政政策学類

地域社会における**多様な担い手**を育成

学類概要

現代の地域社会は政治・経済・文化など、さまざまな面で大きく変化しています。行政政策学類は変化する地域社会の多様なニーズに応え、さまざまな現場で活躍できる地域社会の担い手を育成することを目的としています。1987年に全国唯一のユニークな名称をもつ学部として創設された行政社会学部は、2005年に「行政政策学類」と名称を改め、再スタートしました。行政政策学類は、環境、社会福祉、男女共生、まちづくりなど、地域社会が抱える今日的なテーマをより深く、実践的に学ぶことができる三つの専攻(法学、地域と行政、社会と文化)から構成されています。今日まで、国・地方自治体といった行政機関、様々な業種の企業を始め、各地域・各分野に有為な人材を送り出してきました。



法学専攻

憲法、民法、刑法、商法など、基幹的な法分野に対応した諸科目が整備されており、法学部で行っている法学教育にも十分対応できること、地方自治法、環境法など、ユニークな科目が数多く配置されていること、「法的な思考」の基礎を確実に作るため、裁判傍聴、法律討論会など多様な学びの機会が準備されていることなどに特色があります。そして、法律専門職を目指す学生はもちろん、法的素養を活かし広く民間企業や官庁で活躍できる人材を育成しています。



地域と行政専攻

「新しい地域づくり」に不可欠な、政治学や行政学の基礎を学ぶことができ、まちづくりやコミュニティ形成、生活構造・福祉・環境など、身近な地域課題の取り組みについて学ぶことができること、地域政策課題研究や社会福祉課題研究など、現場体験を重視した実習科目が準備されていることなどに特色があります。そして、国家公務員・地方公務員など、主として公共部門での人材を育成しています。



社会と文化専攻

国立大学法人としては、わが国で最大規模の社会学系の科目と多様な文化系の科目が置かれていること、教育・歴史・ジェンダー・比較文化など、幅広い学問領域をカバーしていること、学芸員、社会教育専事などの資格に関する科目、TOEIC や TOEFL などの英検に関する科目が多く配置されていることなどに特色があります。そしてマスコミ、民間企業、NPO などに関わる人材を育成しています。



フィールドワークで熱心にメモをとる学生

3専攻の特色と人材育成



人文社会学群 経済経営学類

たしかな「**学士力**」を育成する3つの専攻

学類概要

経済経営学類には3つの特徴があります。第1に、まず必要最低限の経済と経営のリテラシーを身につけることから始め、積み上げ式の学習法を行っていることです。第2の特徴は、各種演習(ゼミナール)の指導教員が、少人数制のもと学生のひとりひとりの学びにこたえ、修学や生活面も含め学生を支援することです。第3に、経済経営学類は、2005年から「英語副専攻」プログラムを展開してきました。2015年以降は「英語副専攻」に「特別選抜コース」を導入し、「東日本大震災・福島第一原発事故の被災地の復興に貢献できるグローバル人材」の育成を目指しています。



経済分析専攻

経済の動きを客観的に分析・評価するための、論理的思考とデータ分析力を身に付けます。とりわけ、統計データ分析に重点を置き、「公共システム」や「金融システム」などの現実問題にスポットをあてながら、問題解決力・構想力といった経済社会に出たときに必要不可欠な能力を養います。



国際地域経済専攻

国際比較経済コース、地域経済政策コースの2つのコースの下で、経済学的な素養を十分に備え、地域と世界をつなぐ人材を育成します。



企業経営専攻

国際化・情報化が進む中、論理的に考える力を基礎としながら、企業経営における、おカネの問題からヒトの問題までの幅の広い知識を身につけます。ビジネス・マネジメントコース、ビジネス・アカウンティングコースの2つのコースの下に、知識を使える人、有能と言われる人、なくてはならない人と言われる人材を育成します。



世界展開力強化事業トルコ エーゲ大学にて

3専攻の特色と人材育成



理工学群 共生システム理工学類

理学-工学-社会科学を融合した教育・研究システム

学類概要

地球温暖化対策・化石資源の延命・環境汚染防止・高齢者支援など、今後重要性が増してくる技術を拓き、それらを支える人材を育てるためには、従来の学問体系の枠を超えた学問領域が必要です。このため本学類では、理学-工学-社会科学を融合し、共生を科学する教育・研究システムを採っています。本学類は、21世紀の人類の課題を見すえ、「人-産業-環境の共生」をテーマとした3専攻体制で、教育・研究を展開しています。

3専攻の特色と人材育成



人間支援システム専攻

「人間理解と情報工学・メカトロニクスとを融合した人間支援科学の発展」を基本理念に、教育・研究を行っています。情報工学・電子工学・機械工学など人間支援システムの開発に必要な広範な基盤科学に加え、生理学・心理学などの人間理解の教育に力を入れているのが特色です。人間理解を元に様々な科学技術を活用して、人間支援のものづくりやシステムづくりができる技術者を育成しています。



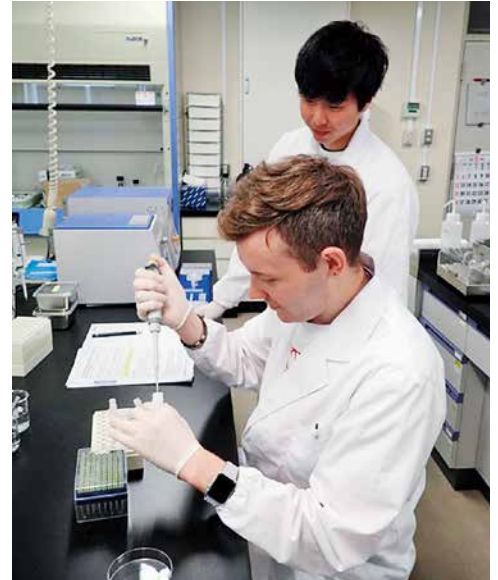
産業システム工学専攻

「人や環境との共生に配慮した持続循環型産業システム科学の発展」を基本理念に、教育・研究を行っています。材料科学・エネルギー工学・プロセス工学・モデリング・経営工学・産業政策など、次世代の産業システムの開発と実践に必要な広範な基盤科学の教育に力を入れているのが特色です。環境マインドと経営的センスを兼ね備え、業種や職種の垣根を越えて活躍できる技術者を育成しています。



環境システムマネジメント専攻

「人間と自然との共生のシステムおよび環境マネジメント科学の発展」を基本理念に、教育・研究を行っています。自然の豊かな福島で、実践的なフィールドワークと実験・実習に力を入れ、環境に関する広範な科学の教育に力を入れているのが特色です。自然資源の保全・浄化および計画管理などの知識や技術を身につけた技術者や公務員などの管理者・教育者を育成しています。



実験風景

農学群 食農学類

食と農をつなぐ、農学専門教育を学ぶ

学類概要

多角的に学べる「農学専門教育」

フードチェーンの上流にあたる「生産環境学」、中流の「農業生産学」、下流の「食品科学」、そして全体を見通す「農業経営学」という、4つの履修コースから選択し専門的に学びます。専門知識を身につけるだけでなく、各コースが有機的に結びついた教育を実施。近年重要視されている「消費者視点で考える農産物生産」など、専門分野を超えた学際的な思考力を養います。

特色ある教育の例

福島県全域がキャンパス「農学実践型教育」(2年次後期・3年次通年)

学生・教員・地域の人々がタッグを組んで、およそ7つのプロジェクトに挑戦する「食農実践演習」科目。4コースから集まったチームメートと協力しながら、月に何度か地域に通い、地域課題を分析し、解決策を提案します。地域社会に貢献しながら、将来に広く役に立つ実践力・判断力・学際性を育みます。



4つの専門コース



食品科学コース …… 農産物の高付加価値化を学ぶ



農業生産学コース …… 農産物の高品質化を学ぶ



生産環境学コース … 持続的な農林業のための環境管理を学ぶ



農業経営学コース …… 魅力的な農業経営の確立を学ぶ



福島大学のキャリア教育と就職支援活動

福島大学は、1年次からのキャリア教育を通して、大学生活や将来の夢、職業を考える意識を涵養するとともに、学生の就職活動については就職支援委員会及びキャリア支援課を中心に、学生の応援団として、“4年間を通した”、“学生の立場に立った”、“学生が満足できる”就職支援を目指し活動しています。ホームページ等による求人情報の提供、キャリア相談員による就職相談、各種就職ガイダンス・セミナーの実施、合同企業説明会の開催など多様なメニューにより、学生の就職活動全般についてサポートしています。



採用ご担当者の皆さまへ



求人募集について

本学では、求人情報配信システム「キャリアタスUC」を利用しております。本システムの利用により、学生は学内外から閲覧でき、迅速な情報提供が可能となります。

つきましては、求人票送付は原則として、郵送、FAX、電子メールをご遠慮いただき、キャリアタスUCサイトにて登録くださるよう、ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。会社情報等もキャリアタスUC上で貴社のホームページ等をご登録いただく等の情報提供をお願い申し上げます。

※企業様のご利用も無料となっております。

キャリアタスUC

<https://uc.career-tasu.jp/corp/flow.html>



求人にかかるご訪問について

担当窓口は、S棟3階にございます。ご訪問及びご連絡は、下記の時間帯にお願いいたします。

月～金曜日 8:30～12:00 / 13:30～16:00

お問合せ先 TEL: 024-548-8108
MAIL: shushoku@adb.fukushima-u.ac.jp



合同企業説明会について

●春季合同企業説明会

3年生を対象とした合同企業説明会は、3月中旬に福島市内にて開催いたします。来年度の開催日程は4月頃、お申し込み方法等は10月頃、いずれもホームページ上で公表いたします。

●秋季合同企業説明会

4年生を対象とした合同企業説明会は、9月に福島大学内にて開催いたします。お申し込み方法等は7月頃にホームページ上で公表いたします。



学内個別企業説明会について

学内個別企業説明会を随時受け付けておりますので、下記詳細をご確認いただき、お申し込みください。

対象 4年生、修士2年生

開催期間 3年生(修士1年生)の3月から
4年生(修士2年生)の3月

開催日時 水曜日の午後2時から午後5時までの3時間以内

申込手順 ①申込書を以下の通り、開催前月の20日までに
お送りください。(20日が土日祝日の場合は、
その前の平日まで)

宛先: shushoku@adb.fukushima-u.ac.jp

件名: 【事業所様名】学内個別企業説明会の申込みについて

②担当より、開催日時と開催場所を
折り返しご連絡いたします。

③申し込みの事前受付を行う場合は、企業様にて
受け付けていただいております。

申込資料 以下2点を入力後、様式をそのままお送りください。
(PDF等への変換不要)

①福島大学個別説明会申込フォーマット

②掲載ポスター(本学様式)

様式は以下の大学ホームページより、ダウンロードを
お願いいたします。

福島大学ホームページ > 進路就職 > 学内個別企業説明会

ほかの詳細については、お申し込み時にお知らせいたします。

また、ご不明な点がある場合はお問い合わせください。

お問合せ先 TEL: 024-548-8108
MAIL: shushoku@adb.fukushima-u.ac.jp

【編集・発行】



国立大学法人

福島大学

Fukushima University 福島大学キャリア支援課

〒960-1296 福島市金谷川1番地 TEL: 024-548-8108

FAX: 024-548-8355 <http://www.fukushima-u.ac.jp>

E-mail: shushoku@adb.fukushima-u.ac.jp

写真提供: PIXTA



【アクセス】

- 東北新幹線「福島駅」からJR東北本線「金谷川駅」で下車し徒歩10分。
- 高速道路は福島西IC・福島松川PAスマートIC・二本松ICをご利用ください。